

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

メロスは激怒した。必ず、かの邪知暴虐の王を除かなければならぬと決意した。メロスは放浪が分らぬ。メロスは、村の牧人である。笛を吹き、羊を遊んで暮らしてきた。けれども邪悪に対しては、人一倍に敏感であった。今日未明メロスは村を出発し、野を越え山を越え、十里離れたこのシラクスの町にやってきた。メロスには父も、母もない。女房もない。十六六の内気な妹と一人暮らしだ。この妹は、村のある権僧な牧人を、近々花婿として迎えることになっていた。結婚式も間近なのである。メロスは、それゆえ、花嫁の衣装やら祝儀のこもややらを買いたい。はるばる町にやってきました。まず、その品々を集めて、それから都の大路をぶらぶら歩いた。メロスには竹馬の友があった。セリヌテウスである。今はこのシラクスの町で、石工をやる。その友を、これから訪ねてみるつもりなのだ。久しく会わなかったのだから、訪ねていくのが楽しみである。歩いているうちにメロスは、町の様子を怪しく思った。ひっそりしている。もう既に日も落ちて、町の暗いのはあたりまえだが、けれども、何だか、夜のせいばかりではなく、町全体が、やけに寂しい。のんきなメロスも、だんだん不安になってきた。道へ立った若い衆を捕まえて、何かあったのか、二年前にこの町に来たときは、夜でも皆が歌を歌って、町はにぎやかであつたはずだが、と質問した。若い衆は、首を振って答えなかった。しばらく歩いて老翁に会い、今度は強くして質問した。老翁は答えなかった。メロスは両手で老翁の体を揺すぶって質問を重ねた。老翁は、切りをはかる低声で、僅か答えた。

「僕は、人を殺します。」

「悪心を抱いている、というのですが、誰もそんな、悪心を持つてはおりませぬ。」

「たゞさんの人を殺したのか。」

「はい、初めは王様の妹婿様を、それから、ご自身のお世話を。それから、妹婿を。それから、妹婿のお子様を、それから、皇后様を。それから、賢臣のアレキス様を。」

「聞いた。国王は乱心か。」

「いいえ、乱心ではございません。人を、信ずることができぬ、というのです。このごろは、臣下の心をも、お疑いになり、少くはてな暮らしをして、この者は、人質一人ずつ差出すことを命じております。ご命令を拒むは十字架にかけられて、殺されます。今日は、六人殺されました。聞いて、メロスは激怒した。「あきれました。生かしておけぬ。」

(未完) 治「走れメロス」より

(1) 線①「メロスは激怒した」とありますが、表現上、この冒頭にはどのような効果がありますか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(15点)

ア 読者をいきなり物語の世界に引き込む効果。  
イ 後で、読者への問いかけの種明かしをする効果。  
ウ この後の物語の展開を読者に予想させる効果。  
エ 読者をゆつくりと物語の世界に誘う効果。

(2) 線②「かの邪知暴虐の王を除かなければならぬと決意した」とありますが、その決意はメロスのどのような性格に基づくものですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(15点)

ア 村人たちを守つてあげたいと思ふ親切な性格。  
イ 内気な妹を見放すことのできない優しい性格。  
ウ 邪悪に対して人一倍敏感な正義感あふれる性格。  
エ 羊たちと遊んで暮らすことの好きな素朴な性格。

(3) 線③「はるばる町にやってきた」について、次の各問に答えなさい。1 メロスが町に来た主な目的は何ですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(15点)

1 王の邪知暴虐をくい止めるため。  
イ 妹の結婚式の準備をするため。  
ウ 生活に必要な品々を買い足すため。  
エ 花嫁道具や羊のえさを調達するため。  
2 メロスが町に来たもう一つの目的は何ですか。次の文の□に当てはまるように、文章中の言葉を使って書きなさい。(3点×2)

□を□のこと。

(4) 線④「竹馬の友」について、次の各問に答えなさい。1 「竹馬の友」の意味として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。(4点)

1 たまに会う友達。 イ 幼い頃からの友達。  
ウ 仲のよい友達。 エ 性格のよい友達。  
2 メロスの「竹馬の友」の名前と職業を答えなさい。(5点×2)

名前 □ 職業 □

(5) 線⑤「のんきなメロス、だんだん不安になってきた」とありますが、それはなぜですか。「……から」に続くように、文章から十二文字で抜き出してください。(10点)

□から。

(6) 線⑥「今度はもつと、語勢を強くして質問した」とありますが、どのような質問をしましたか。その内容を文章から四十七文字で抜き出し、初めと終わりの五字を書きなさい。(10点)

□から。

(7) 思考力判断力表現力 次は、線⑦「老翁は、切りをはかる低声で僅か答えた。」についての生徒どうしの会話です。会話文の□に当てはまる言葉を、文章中の言葉を使って五字程度で書きなさい。(5点×2)

生徒A 老翁は、どうしてこのような態度を取ったのか。  
生徒B 「切りをはかる」は、「周囲を気にする」という意味だから、自分の発言を人に聞かれないかかったんだよ。  
生徒A そうか。「王は」□□□□□と言ったこと  
とが知られたら、自分も□□□□□危険が□□□□□あるから、老翁は切りをはかったんだね。

(8) 線⑧「聞いた」とありますが、メロスはどんなことに聞いたのですか。二十五字以内にまとめて書きなさい。(15点)

□□□□□

(9) 線⑨「ご命令を拒めば十字架にかけられて、殺されます。」とありますが、この「命令」に当たることを文章から十二文字で抜き出してください。(10点)

□□□□□

(10) 線⑩「王が人を殺すなど、暴虐」を繰り返しているのはなぜですか。その理由に当たる王の考えを文章から十二文字で抜き出してください。(10点)

□□□□□

読解

(1) 場面の初めに「激怒した」という、短く、強烈な印象を与える表現を用いることで、読者を突然作品の世界に引き込む効果がある。

(2) 「けれども邪悪に対しては、人一倍に敏感であった。」(3〜4行目)とあり、人殺しを重ねる王を何とかせねばと立ち上がるメロスの姿が描かれている。

(3) 1 直前に「結婚式も間近」とある。メロスは妹の結婚式の準備のため、「花嫁の衣装やら祝儀のごちそうやら」を買いに町までやってきたのである。エは、「羊のえさ」の部分で誤り。

2 「それから都の大路をぶらぶら歩いた」(9〜10行目)の後で、結婚式の品々を買い集めてから、友を訪ねようとするメロスの様子が表されている。

(4) 1 「竹馬の友」とは、一緒に竹馬で遊ぶ頃からの幼なじみの意味。

2 直後の二文に着目する。

(5) 直前にメロスが「不安になってきた」理由について述べられている。「やけに」という言葉に町の不審な様子が表されている。

(6) 寂しい町の様子に違和感を覚えたメロスは、若い衆や老翁を捕まえて「何かあつたのか……にぎやかであつたはずだが」(16〜18行目)、と質問している。

(7) 「切りをはかる」とは、周りの様子をうかがい、遠慮するという意味。老翁は、王の暴虐について言及したことが万が一王の耳にも入れば、自分も捕らえられ、殺されてしまうことと警戒していたのである。

(8) 直前の老翁の会話をまとめる。王が「妹婿」に始まり、「皇后様」「賢臣のアレキス様」に至るまで手にかけてたことを知り、メロスは「驚いた」のである。

(9) 直前の「命じております」に着目して、その内容を捉える。

(10) メロスの質問に答える老翁の証言「いいえ、乱心ではございません。人を、信ずることができぬ、というのです。」(31〜32行目)に注目する。